



2023年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年4月11日

上場会社名 株式会社グッピーズ 上場取引所 東
 コード番号 5127 URL <http://www.guppy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 肥田 義光
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 清水 瞬 (TEL) 03-5908-3880
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第2四半期の業績(2022年9月1日~2023年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	1,207	—	458	—	455	—	308	—
2022年8月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2023年8月期第2四半期	90	43	84	18				
2022年8月期第2四半期	—	—	—	—				

(注) 当社は、2022年8月期第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、2022年8月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
2023年8月期第2四半期	2,646	—	1,896	—	71.7	—
2022年8月期	1,509	—	832	—	55.2	—

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 1,896百万円 2022年8月期 832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—	—
2023年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,355	27.3	603	28.3	601	24.0	420	23.0	121.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無

：有

業績予想の修正については、本日（2023年4月11日）公表いたしました「通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

：有

② ①以外の会計方針の変更

：無

③ 会計上の見積りの変更

：無

④ 修正再表示

：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年8月期2Q	3,529,300株	2022年8月期	3,000,000株
2023年8月期2Q	26株	2022年8月期	—株
2023年8月期2Q	3,416,176株	2022年8月期2Q	—株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）当社は、2022年8月期第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、2022年8月期第2四半期の期中平均株式数は記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が徐々に緩和され、経済活動活性化への動きがみられた一方で、ウクライナ情勢等の地政学リスクや世界的な金融資本市場の変動の影響等により、先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中においても、当社の注力市場である医療・介護・福祉分野におきましては、依然として人手不足が大きな課題になっており厚生労働省が発表した2023年度2月の有効求人倍率は、医療業界が2.71倍と全職業合計の有効求人倍率は1.41倍を大きく上回っております。

当社では医療・介護・福祉分野の医療従事者の不足や偏在、また、介護事業者・介護従事者の不足を解消するため、医療提供機関、医療従事者の良きパートナーとなり、人材サービスをベースにした経営サポートを行うなど、新たなサービスの開発にも取り組んでまいりました。

この結果、売上高は1,207,398千円、営業利益は458,142千円、経常利益は455,879千円となり、四半期純利益は308,936千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 人材サービス事業

人材サービス事業では、医療・介護・福祉業界における主に有資格者に対応した求人サイト「GUPPY」において、中途転職者においては求人広告事業、就職新卒者においては国家試験過去問アプリの提供、求人広告、就職情報誌、また求職者全体への就職合同説明会などを展開し、国家試験対策から就職活動、転職までのサポートを提供しております。

当第2四半期会計期間においては、医療・介護・福祉業界に特化した求人サイト「GUPPY」において、歯科職種向け求人広告が堅調に推移いたしました。また病院・薬局・介護施設・保育所等向けには新しい採用サービスを開始いたしました。

以上の結果、売上高は1,115,496千円、セグメント利益は613,955千円となりました。

② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業では、スマートフォンによる健康アプリ「グッピー ヘルスケア」を企業、自治体及び健康保険組合向けに提供しております。

当第2四半期会計期間においては、東京ガス株式会社向けに従業員の健康活動によって獲得したポイントを寄附できる新たなサービスを提供いたしました。また自治体についても広島県へのサービス提供を開始いたしました。

以上の結果、売上高は91,902千円、セグメント損失は30,184千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,468,730千円と前事業年度末比1,127,954千円増加しました。これは主に四半期純利益の計上及び増資に伴う現金及び預金1,039,817千円の増加によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は177,480千円と前事業年度末比8,852千円増加しました。これは主にヘルスケアアプリの開発及び歯科集患サービスサイト開発等に伴うソフトウェア27,960千円の増加及び繰延税金資産16,681千円の減少によるものであります。

以上の結果、当第2四半期会計期間末の総資産は2,646,210千円となり、前事業年度末比1,136,806千円増加しました。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は724,030千円と前事業年度末比73,146千円増加しました。これは主

に当座借越の実行に伴う短期借入金100,000千円の増加及び決算賞与が支払われたこと等に伴う未払費用39,805千円の減少によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は25,864千円と前事業年度末比9千円増加しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金振替による長期借入金1,854千円の減少及び健康ポイント引当金2,073千円の増加によるものであります。

以上の結果、当第2四半期会計期間末の負債合計は749,895千円となり、前事業年度末比73,156千円増加しました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は1,896,315千円と前事業年度末比1,063,650千円増加しました。これは主に増資に伴う資本金377,390千円の増加、資本剰余金377,390千円の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して1,039,817千円増加し、2,148,185千円となりました。

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は227,523千円となりました。これは主に減少要因として売上債権の増加額87,168千円、法人税等の支払額84,393千円があった一方で、増加要因として税引前四半期純利益455,879千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は30,852千円となりました。これは主に減少要因としてソフトウェアの取得による支出29,251千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は843,146千円となりました。これは主に増加要因として株式発行による収入754,781千円、当座借越の実行に伴う短期借入による収入100,000千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年10月13日の「2022年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2023年4月11日)公表いたしました「通期業績予想の修正(上方修正)に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,111,370	2,151,188
売掛金	209,418	296,201
貯蔵品	6,395	3,556
その他	13,720	18,060
貸倒引当金	△128	△276
流動資産合計	1,340,775	2,468,730
固定資産		
有形固定資産	54,352	51,783
無形固定資産	10,352	38,313
投資その他の資産	103,923	87,384
固定資産合計	168,628	177,480
資産合計	1,509,404	2,646,210

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	16,710	7,572
未払法人税等	84,393	130,261
契約負債	310,452	291,828
賞与引当金	10,241	11,509
褒賞費用引当金	12,441	9,721
その他	216,645	173,137
流動負債合計	650,884	724,030
固定負債		
長期借入金	1,854	—
健康ポイント引当金	4,771	6,845
資産除去債務	14,540	14,567
リース債務	4,688	4,451
固定負債合計	25,854	25,864
負債合計	676,739	749,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	407,390
資本剰余金	—	377,390
利益剰余金	802,665	1,111,601
自己株式	—	△67
株主資本合計	832,665	1,896,315
純資産合計	832,665	1,896,315
負債純資産合計	1,509,404	2,646,210

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
売上高	1,207,398
売上原価	43,111
売上総利益	1,164,286
販売費及び一般管理費	706,144
営業利益	458,142
営業外収益	
受取利息配当金	8
受取戻金	96
雑収入	1
営業外収益合計	106
営業外費用	
支払利息	435
固定資産除却損	186
株式交付費	1,746
営業外費用合計	2,369
経常利益	455,879
税引前四半期純利益	455,879
法人税、住民税及び事業税	130,261
法人税等調整額	16,681
法人税等合計	146,942
四半期純利益	308,936

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	455,879
減価償却費	5,275
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	340
褒賞費用引当金の増減額 (△は減少)	△2,719
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,267
健康ポイント引当金の増減額 (△は減少)	2,073
固定資産除却損	186
受取利息及び受取配当金	△8
支払利息	435
売上債権の増減額 (△は増加)	△87,168
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,838
未払金の増減額 (△は減少)	△14,960
未払費用の増減額 (△は減少)	△39,805
契約負債の増減額 (△は減少)	△18,623
未払消費税等の増減額 (△は減少)	10,983
その他	△3,813
小計	312,180
利息及び配当金の受取額	8
利息の支払額	△271
法人税等の支払額	△84,393
営業活動によるキャッシュ・フロー	227,523
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,602
ソフトウェアの取得による支出	△29,251
敷金及び保証金の差入による支出	△41
敷金及び保証金の回収による収入	43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,852
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	100,000
リース債務の返済による支出	△575
長期借入金の返済による支出	△10,992
株式の発行による収入	754,781
自己株式の取得による支出	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	843,146
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,039,817
現金及び現金同等物の期首残高	1,108,367
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,148,185

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年9月30日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2022年9月29日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式）増資による新株式363,000株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ258,819千円増加しております。また、2022年11月2日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式166,300株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ118,571千円増加しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において、資本金が407,390千円、資本剰余金が377,390千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計上額 (注) 2
	人材サービス事業	ヘルスケア事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,115,496	91,902	1,207,398	—	1,207,398
外部顧客への売上高	1,115,496	91,902	1,207,398	—	1,207,398
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,115,496	91,902	1,207,398	—	1,207,398
セグメント利益又は損失 (△)	613,955	△30,184	583,770	△125,628	458,142

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△125,628千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っております。